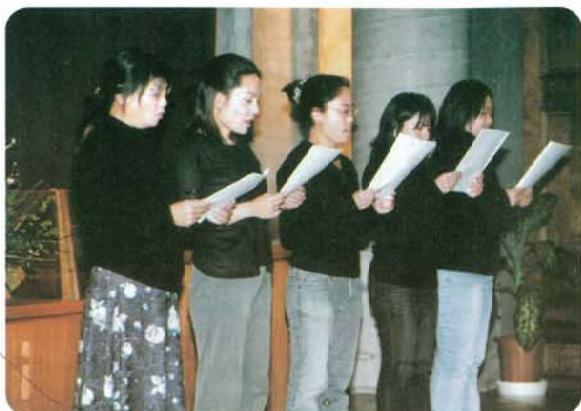




キャンパスライフ



ことばのライブ (2004年4月)



インドネシア留学生によるスマトラ募金ミニライブ
(2005年2月)



学生達の取材活動による成果が詰まった
CD-ROMを制作 (2005年2月)



授業風景 (2004年4月)



イラクの平和を願ってPaint for Peace一寄せ絵イベント (2004年4月)



沖縄キリスト教学院大学
沖縄キリスト教短期大学

学報 第51号

2005年3月15日発行

沖縄県西原町字翁長777

☎(098)946-1240㈹(098)946-1241

編集・発行

沖縄キリスト教学院学報委員会

URL <http://www.ocjc.ac.jp/>



沖縄キリスト教学院大学 開学式・入学式

就職研究サークルDAIA (ダイヤ)	8・9
★国際交流 台湾フレンドシップ・キャンプ	
私を変えた10日間	10
★2004年度開催された学会・総会	11
★保育科関連活動	11
★キャンパスライフ	
鳴呼、青春のキリ短	12
★同窓会便り	
韓国での留学生活	13
★教員の研究・教育活動	
学長 神山 繁實	4
2005年度 前期公開講座	14
★人事	14
★2003年度決算報告	14
★付記	
退職される先生	6
訃報 デイヴィッド グレイ 先生を悼む	6
★寄付感謝報告	15
新任教員紹介	7
★キャンパスライフ	16

記事内容



学校法人沖縄キリスト学院
理事長 大城 進一

沖縄キリスト学院大学の開学記念式典に当り、学校法人沖縄キリスト学院「理事会」を代表して式辞を申し上げます。

本日は、第2代目理事長 大森泰夫 様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り沖縄キリスト学院大学の開学記念式典をこのように盛大に開催できますことを心から感謝申し上げます。

さて、現沖縄キリスト教短期大学は、1957年、沖縄キリスト教団によって、「沖縄キリスト学院」として創設され、幾多の変遷を経て今日に至っております。その学院の創設の趣旨でございますが、去る第二次大戦後、荒廃した沖縄の島々を復興するため、地域のみならず、広く国際社会においても活躍できる人材の育成にありました。特に、沖縄の戦後^{zero}から復興するためには、「人材の育成にあり!」という視点でとらえた創設者（初代理事長）仲里朝章先生の崇高なる“思”いがあったからであります。そして今日まで、その遺志を継いで歩んでまいりましたが、此の度、2003年11月27日付で文部科学省から新たに、「沖縄キリスト学院大学」の設置認可を得ることができました。

この大学は、一学部一学科（沖縄キリスト学院大学・人文学部・英語コミュニケーション学科）として構成され、名称が示すとおり「英語」に特化した四年制大学であります。開学に至るまでには、本当に数多くの皆様方に有形無形のご支援、ご協力をいただきました。このことに改めて感謝を申し上げたいと存じます。この新設された沖縄キリスト学院大学の設置趣旨でございますが、近年、急速に変化し、複雑化する社会環境に対応し、より高度の知識と技能、幅広い視野とともに実践的英語運用能力を身につけた人材を育成しようとするものであります。この

2004年4月1日開学 沖縄キリスト学院大学開学記念式典 理事長式辞

設置趣旨を更に詳しく申し上げますと――

- ・一つは、沖縄県内唯一のキリスト教主義高等教育機関として、現沖縄キリスト教短期大学と同様な建学の精神を継承し、社会に貢献すること
- ・二つは、国際化、グローバル化時代の要請に応えて、高度のコミュニケーション能力、幅広い教養、高い倫理性を兼ね備えた“異文化コミュニケーター”を育成し、人類の福祉向上に貢献すること
- ・三つは、社会の高度化、複雑化、多様化に連動する四年制大学志向という社会的要請に応えること
- ・四つは、“国際交流”的点形成という沖縄県の長期目標の達成に人材育成の面から貢献すること――ということです。

従って、この設置趣旨を踏まえた教育は、まさに時代の要請に応えると同時に、「沖縄振興計画」で謳われている、高度の英語運用能力と豊かな国際感覚に優れた人材の育成にも大きく合致するものであり、中長期的には、「沖縄の自立的発展」を担う人材育成という意味もここに込められているものと思います。

これを実現するためには、教育力の高い教員の確保が最大のポイントでありましたが、その選考に当っては、学歴、職歴、研究業績等を慎重に検討し、また、



記念木オリーブを植樹

面接によって本学の教育目標、教育方針についても十分理解があるかどうかを確かめるとともに、更に、教育能力については、教育上の業績、当該教員に対する学校、学生、その関係者の評価に留意し、学長及び学部長予定者がそれぞれ個別の面接によって確認をいたしました。その結果、専任教員19名中、6名が博士号取得者、7名が学位論文執筆中の博士号取得予定者（Ph.D. candidate）となっております。また、年齢構成につきましても、30代後半から50代前半の教員が中心となっております。このような教員構成となっておりまして、「英語コミュニケーション学科」の授業科目を完璧に教授できる十分な教育力と各教員の持味を發揮できるfaculty（教授陣容）であります。

人は、「自ら育つ部分」と「自分以外の他人の教えを受けて育つ部分」があるかと思われますが、特に後者の教育力に負うところ大なるものがあるのではないかでしょうか。

このような教員構成による四年間の教育を受ける学生諸君は「入学時には、片言の英語を話す日本人」から「卒業時には、英語を十分に駆使する国際人」に変身して卒業することが期待できると言っても過言ではありません。

今日まで「英語のキリ短」として世の評価を受けてまいりしたが、これからは、「英語のキリ短」と

ともに、より高い「英語のキリスト学院大学」として更なる評価を得て、県内外に、世界に通用する国際人を世に送り出すことができるものと確信いたします。四年後が楽しみです。

この開学記念式典の後に、入学式が行われますが、第1回目の新入生諸君の入学を祝福するとともに、沖縄キリスト学院大学の教育目標を強く意識しつつ、勉学に励み「英語を学び英語で活躍できる人材」に育つことを期待いたしたいと思います。本日、このように、沖縄キリスト学院大学を開学することができましたが、設置準備の段階から現在に至るまで、大学の発展のために、貢献していただいた関係各位、そして経済的にご支援をいただいた後援会、同窓会、企業の方々、個人各位に対し、深甚なる敬意と謝意を表するものであります。又、学内の教員、事務局職員の理解と協力にも感謝をいたします。本日の開学式典を機に、生まれたばかりの沖縄キリスト学院大学を「我が子を育てるような心」で見護り、「英語の杜」として育てていただき、教育界、産業界等からも期待され、信頼される高等教育機関にしたいものです。おわりに、本日、ご臨席の皆様方に改めて心から感謝を申し上げますとともに、引き続きこれからもこの大学をご支援、ご協力いただきますことを心からお願いをいたしまして、私の式辞といたします。



記念植樹（左から 山里沖縄教区総会議長、神山学長、大城理事長、スラッシュ一学部長、第1期生、大城副理事長）



沖縄キリスト教学院大学人文学部 英語コミュニケーション学科 入学式 式辞

沖縄キリスト教学院大学
沖縄キリスト教短期大学
学長 神山 繁實

沖縄キリスト教学院大学英語コミュニケーション学科の第1期生として入学する新入生の皆さん、ご隣席の皆さん、おめでとうございます。皆さん、本学の第1期生として、大学と共に歴史的第1歩を記すことになりました。本学は、昨年の11月27日に認可が下り、長年の念願であった四年制大学としてスタートすることになりました。認可が下りると、教職員一同は、直ちに学生募集、入学試験の受付と入試というように大変忙しい日々を過ごし、あっと言う間に本日の入学式を迎えることになりました。本学の入学定員120名のところ応募者が160名いました。実際に、入学した学生は114名という入学定員よりやや少なめでしたが、教職員一同は、新入生の皆さんと一緒に四年制大学の新たな伝統形成のために力を合わせて、理想的な大学造りをしていくつもりです。

皆さん、沖縄に世界トップレベルの大学院大学設置の噂を聞いています。この大学院大学は、理工系であることは、よく知られているところですが、昨年3月に沖縄県民フォーラムが開かれました。そのコーディネーターを務めた東京大学医科学研究所所長の新井賢一教授は、21世紀は、すべての学問や価値観においてパラダイムシフト起こっている、と指摘しています。パラダイムシフトというのは、従来の考え方の枠組みや原理の転換という意味で、パラダイムシフトをしなければ、新しい時代にはついていけないだろうと、指摘しています。この先生は、20年ほど米国のスタンフォード大学で研究生活を送っていましたが、特に、情報科学の研究と産業の創出で有名なシリコンバレーの経験を話していました。シリコンバレーでは、IT、情報技術を媒介に生命科学が連続的に進化した、と考えています。新井教授の説では、バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、エンバイロメンタルテクノロジーを融合させた科学がこれからの中核である、というのです。理工系の専門家でもない私がどうして専門外のことを言うのか、不思議に思っておられると思いますが、決して不思議ではないということを言いたいのです。新井教授は、日本では、連携し、融合される先端科学にもう一つのテクノロジーが加わる必要がある、と指摘しています。このテクノロジーが無くては、知的拠点にはなれないというのです。このことを聞いた人は、一体どのようなテクノロジーなのだろうか?と疑問に思うでしょう。もう一つのテクノロジーとは、イングリッシュ・テクノロジーである、というのです。

2004年4月1日

イングリッシュ・テクノロジーとは、情報伝達の中心を担う技術である、と考えられます。我々の新しい学部学科の趣旨は、「英語を駆使できる能力」を身に付けるということで、新入生の皆さんもそのことをよく理解していると思います。また、人文学部と言うのは、教養教育を中心とする学部教育のことを指します。総合的な判断や分析能力を養うのは、深い教養によって培われるという理解は、重要です。単に、即戦力を身につけた職業教育では、新しい時代には適応できなくなります。英語コミュニケーション学科の趣旨は、「分別をもって」英語を駆使できる能力を養うということですから、どのようなフィールドにも通用するような学びをしておく必要があるのです。私は文系だから、私は理系だからと言って自分にとって関心の無い別のフィールドから逃げるわけにはいかないのです。すべての領域の英知を結集しないと世界は滅びるところまで来ていると思います。特に、英語コミュニケーション学科の学生は、英語を駆使するために、どのような領域においても活躍できる幅広い教養を身に付けて、新しい時代に即応できるようにしていただきたいのです。本学は、そのような英語教育のメッカになるでしょうし、そのような教育ができる大学になることが期待されています。この趣旨は、先生方だけではなく、学ぶあなたがたにも期待されているのであります。

最後になりましたが、本日、読まれた聖書のテキストは、「あなた方は真理を知るであろう。真理はあなた方を自由にするであろう」というイエスの言葉です。本学は、建学の精神と教育理念を聖書とプロテstant・キリスト教主義に立つ教育を推進します。特に、現代は、宗教性を喪失した時代であると言われています。これは、物質に対する精神の喪失を意味しています。本学で学ばれる皆さんには、キリスト教学院大学で学ぶ意味を改めて考えていただきたいと思います。国際化・情報化の時代の只中にあって、人類にとって普遍的価値と本学院が一貫して追及してきた隣人愛の教えを、現代に活かす工夫を共に考え、実践して行きたいと願っています。そのため、ここで言われている「真理とはなにか?」真の「自由とは何か?」という課題を追及していくましょう。新入生の皆さんこれから学園生活が神様によって祝福されたものになるように、願いつ私の式辞を終わりります。

沖縄キリスト教学院大学・短期大学入学式風景

2004年度入学者数

沖縄キリスト教学院大学

人文学部、英語コミュニケーション学科

第1期 114名

沖縄キリスト教短期大学

英語科 第49期 127名

保育科 第49期 129名



大理石校名表示板
四年制大学開学記念「春のお茶会」チャリティー(GALLERY 宇主催)贈呈

キャンパスニュース



神と自分と隣人との関係を考える

卒業生の皆さん！ご卒業おめでとうございます。未知の世界へ力強く歩み出して下さい。

神様の御加護の下、私は本学院で20代の後半から37年間勤めさせていただきました。歴代の学長先生や教・職員の暖かいご指導とご支援を賜わり、深く感謝申し上げます。

学生との学内外における語り合いは、今後も楽しい思い出として想起されることでしょう。英語聖書や英字新聞を使ってのクラスでは、イエスの生涯や世界の出来事について学生と共に学びました。新入生オリエンテーション・キャンプでは、渡嘉敷の美しい海でカヌーを漕ぎ、水泳を楽しみ、共に人生を語りました。とても有意義な時でした。

本学のユニークな教育は、月曜礼拝等を通して、教・職員や学生が常に神と自分と隣人との関係の正しいあり方を学び、その視点に立って自己や社会の諸問題の解決を考えることが出来ると言ふことです。建学の精神こそ、あらゆる発想の原点と言えましょう。

「真理はあなたを自由にする。」

四年制大学への編入や就職内定を勝ち取った諸君には心からお祝いを申し上げます。なお、将来の進路が未決定の者は、障害を成功の踏み台とすべく4~5年間、沖縄脱出を試みてはいかがでしょうか。厳しい条件下で自己への挑戦を是非やって下さい。チバリヨー！

最後に、本学院の限りないご発展と教・職員並びに卒業生・在学生ご一同の上に神様の御祝福とお導きが豊かにありますように祈念申し上げます。感謝！感謝！タンディガータンディ。



花に埋もれて

2月5日は酔い痴れて帰宅した。別に酔っ払い運転をしたわけではない。溢れんばかりに車に積み込まれた花束のふくよかな香りに酔ったのである。

長年お世話になった学校に「最終講義」という粹な計らいをして頂いた。理事長、学長、前学長をはじめ、多くの教職員、関係者が出席して下さった。他大学に転任した元同僚や学生時代の友人も駆けつけてくれた。特に、在学生、卒業生の姿には胸を打たれるものがあった。講義終了後は、花束、花束、花束と、まさに花束の洪水であった。30余年の地味な教員生活ではあったが、最後だけは花に埋もれて華やかに締めくくり、心あたたかい職場で働けた喜びを噛みしめたものである。皆さん、本当に有難う！

四年制大学設置資金造成のため、毎日のように、県内企業のトップの方々とお会いしていた頃があった。どこでも、お宅の卒業生は素晴らしい、とお褒めの言葉を頂いた。某保険大手の方は、お宅の卒業生には独特の校風を感じられると絶賛して下さった。この校風の土台を築いたのは、旧首里キャンパスのみすばらしい校舎を竣工した学生達である。個性豊かな、エネルギーの多い学生が、あの狭苦しいキャンパスに次から次へと入学してきた。みすばらしい校舎を少しも恥とせず、勉学に勤しみ、独立不羈の精神を養い、たがるような向上心をもって社会に飛び立っていった。「校舎は三流、教師は二流、ただし学生は一流」と私は誇らかに言っていたものである。

キリ短の校風が限りなく引き継がれることを祈念するとともに、沖縄キリスト教学院大学が新しい伝統を築き上げることを切に希望する。



訃報 ディヴィッド グレイ 先生を悼む

私達の仲間でありますグレイ先生が、昨年の夏、天に召されました。あまりにも突然なことで、未だに信じ得ないものがあります。

グレイ先生は、英国メソジスト教会から日本へ派遣された最初の宣教師です。先生の信仰は、深く・厚く、そこから湧き出る教育への情熱・献身は他の教師にとって模範となるものでした。先生の指導で、キリ短の学生が、全国英語弁論大会で優勝に輝きました。また、英語劇のシナリオ作成・指導・上演と英語教育への熱き思いを実践し続けました。

先生の話される英國英語は格調高く、どの耳にも心地良く響いたものと思います。また、声も良く、賛美歌やゴスペルを歌われる時などは、聞いている者を魅了していました。その実力は、県民メサイヤのタペに出場したり、芸大の発表会で、メンデルスゾーン作・オラトリオ「エリヤ」に出場する程の高レベルのものでした。

グレイ先生は、本当に素晴らしいものを、学生・教職員に示して下さいました。宣教師であり、教育者であり、素晴らしい歌い手であったグレイ先生を偲びます。

英語科科長 山里 恵子

新任教員紹介

英語コミュニケーション学科



仲地 弘善 教授

「スタイルンベック文学を求めて」

昨年3月、琉球大学を定年退職し、同年4月に本学に赴任しました。現在、英語講義を担当し、初心に帰って学生たちとともに語学の習得に精進しています。

専門は、英米文学、特にアメリカ文学で、アメリカの作家ジョン・スタイルンベックに興味を寄せて研究しています。本学の第一期生が3、4年次に進級し、ゼミでアメリカの小説をいつしょに読んで語り合える日を楽しみにしています。

本学に赴任しての余得は、キリスト教及び聖書に造詣の深い先生方から貴重なお話を聴けることです。文学としての聖書の読みから一歩でも前進できればと願っています。

「新たな気持ちで教育・研究を」

この4月より、四大の英語コミュニケーション学科に赴任いたしました。沖縄に移住して今年で7年目であり、この6年間は沖縄大学の国際コミュニケーション学科で教鞭をとりました。偶然にも、また、新設学科で働く機会に恵まれ、新たな気持ちで教育・研究を続けたいと思っています。専門は異文化コミュニケーションで、本学では、「コミュニケーション入門」「異文化コミュニケーション」「比較文化論」などを担当します。授業では現在起こっている事件などタイムリーな問題をとりあげたい。世界や国内の出来事を理解する力がは、人、社会、文化であり、この三つを繋ぐものが人と人のコミュニケーションだと考えている。これまででは異文化適応について研究してきたが、最近は研究の幅を広げ、沖縄を異文化ととらえ、時間と空間の研究を進めている。どうぞよろしくお願いいたします。

「よろしくお願いします」

7年半もアメリカで留学していました。長ければ良いというものではありませんが、その間学業以外でも色々勉強できたと思います。1998年に帰国したとき、茶髪の若者が携帯を持ち歩く様を見て浦島太郎になった気分でした。去年10月から英語コミュニケーション学科講師として、主に「英語講義」を担当しています。キリ学から多くの有能な人材を社会に送り出すため、ベストを尽くしたいと思っています。卒業、そして就職までの道のりを共に歩み続ける仲間として頑張りますので、学生や職員の皆さん、よろしくお願いいたします。

「ただいま！」

10月1日より、英語コミュニケーション学科の専任講師として、母校、キリ学に戻ってまいりました。自分が学生として学んでいた教室の教壇に講師として立つのは、懐かしいような、照れくさいような不思議な感じです。研究テーマが琉球語なので、英語はもちろんのこと、学生たちと共に沖縄の言語や文化についても学び、しっかりと足元を固めていくつもりです。「出る杭」を打つではなく、むしろ出る杭だらけの個性豊かな人材を育む、そんなユニークで魅力的な大学になると楽しいですね！

「思索のための歩み」

2004年4月から本学院短大・総合教育系に赴任した青野と申します。それ以前はスキー部で有名な青森の東奥義塾高校の教諭として9年間、キリスト教活動全般を統括するチャップレン職と生徒指導職、ボランティア教育を担当していました。現在は、殆ど研究室にてキリスト教史分野の研究テーマと格闘しています。

沖縄は酷寒の北東北と違い「鋭角的」な生き方が難しい文化面での違いがありますが、「うちなー文化」にも徐々に順応してゆけるよう努力したいと思います。現在のモットーは「歩き、考える」「pensar andando」ことです。もう山スキーはできませんが、時間のある時は沖縄の各地を歩いてその素顔の文化を発見しつつ、思索を深めています。どうぞ宜しく！

「伝わった時の感動を・・・」

外国语を習得する時、積極的な態度で臨むことは大事なことです。読む、聞く、話す、感情表現、それらが磨かれていくことで表現力がつき、気持ちを伝えることができるようになります。一生懸命に伝えたい、表現したいと努力し、うまく伝わった時の感動を知ると言葉への興味は限りがないのではないかでしょうか。間違ことばかりを恐れていては、いつまでも感動も味わえません。頭の中では簡単に出てくる文章も、言葉としては出にくいですが、一歩踏み出すと先へ先へと進んでいくのではなでしょうか。私の授業の中で、英語を習得する喜び、学びたいという願望をより強く感じてくれたという気持ちで頑張っています。

「一人ひとりの考え方」

みなさん、こんにちは。私は、琉球大学農学研究科を修了後、沖縄県文化環境部計量検定所で約1年間の臨任職員を経て、沖縄キリスト教短期大学保育科へ2004年4月に赴任しました。

さて、大学生活でみなさんに心がけてほしいことがあります。それは「できる限り多くの人（大学の内外を問わず）と会話を楽しむ」ことです。十人十色という諺があるように、人は一人ひとり考え方方が違います。相手の意見を受け入れず、自分の考えが正しいと判断することもあるでしょう。しかし、（話し相手が）どうしてそのような考え方になったのか、考えてみてください。そこには、様々な問題解決の糸口があるはずです。みなさんと色々なお話ができるることを期待しています。よろしくお願いします。



照屋 建太 助手



David Ulvog 講師

保育科



照屋 建太 助手

キャンパスニュース

台湾フレンドシップ・キャンプ

私を変えた10日間

英語コミュニケーション学科
第1期 金城 亮子



日本統治時代の教育所跡に建てられた寺院の前で

台湾は、私にとって初めての海外で、楽しみ半分、ミーティングや夏休みを削っての準備で難儀半分といった感じでした。しかし、10日間の日程を終えて帰って来た今、それ以上に得たものの大さに感動し続けたままです。

最初の滞在地である布農（ブヌン）部落は、「部落」、「原住民」といった言葉から連想するにはあまりにも近代的な施設でした。ここでは、子ども、青年による伝統的な歌や踊りのショー見学、お年寄りとの交流、音楽祭に参加しました。音楽祭で私達は琉球舞踊と民謡を披露し、小さいながらも国際交流ができた気がして、嬉しく思いました。また、お年寄りとの交流では、旧日本軍の軍帽を被り、軍歌を歌うお年寄りの姿に何ともいえない感情を覚え、涙が止まりませんでした。そんな布農のお年寄りは、沖縄の“おじい”や“おばあ”によく似ていて、とても親近感を感じました。

次に訪れた玉山神学院（花蓮県）では、資料を用いて沖縄を紹介する「沖縄アワー」を持ちました。その中、神学院の学生たちが特に関心を示していたのが「基地」に関することで、様々な質問を受けました。彼らの問題意識の高さに感心すると共に、私達にとっては“当たり前”になっていた基地について改めて考える時でした。

また、花蓮滞在中には、ライスワノさん（阿美族出身、中国名：李平山）というおじいさんを訪



ピュマ族の伝統舞踊を踊る青年たち

2004年度開催された学会・総会 -

- ・キリスト教保育連盟 沖縄県部会総会
 - ・沖縄外国語文学会 第19回大会
 - ・日本コミュニケーション学会九州支部
 - ・キリスト教史学会 第55回大会
 - ・人類働態学会西日本地方会 第30回大会

2004年5月15日
年7月4日
年10月10日
年11月22日
年12月11日

保育科関連活動

「生活技能」 チラシによる作品



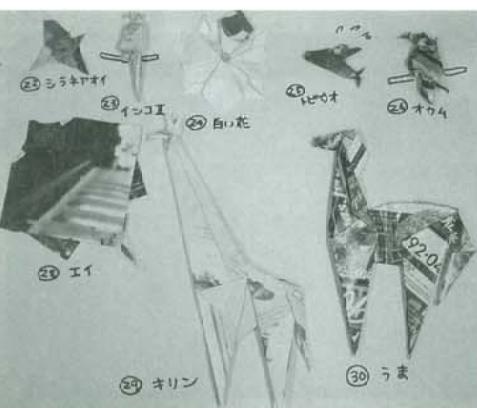
テーマ：きせつのおりがみ



「森田明美先生講演会」(8月20日)
(東洋大学社会福祉学科教授)

保育科主催

カリスマ保育士 「遊ぶ意味」講座



テーマ：自然の中



「乳兒保育演習」作品

キャンパスライフ

嗚呼、青春のキリ短

沖縄キリスト教学院学生会
第47期会長 渡口 勝也

私のキリ短進学の第一の目的は「友達をたくさんつくること」でした。まるで小学一年生のような心怠りで過ごした2年間というものは、自分にとって想像をはるかに越えていた実に濃いものでした。

幸運にも一般試験で入学できた私は、故郷の石垣島を離れ、初めての一人暮らし、学生会長、キリ学祭実行委員長とたくさんの経験ができました。そんな中、私を常に支えてくれたのが、キリ短生活を共にした友人たちであり、学生会仲間であり、先生方、そして家族に、事務職員の方々、掃除のおばちゃん、購買のおばちゃんであり、通堂ラーメン、お昼休みの中庭でのキャッチボールで、フットサルサークルの帰りに行く西原シティなどでした。

たくさんの人々の支えと協力のおかげで今の自分があります。これからもゆっくりではあります、自分のペースで確実に前に進んでいきたいと思います。まだまだ長い道の途中ではありますが、踏みしめてゆくたび周りの支えあっての一歩だということを胸に、いつでも自分自身を見つめなおすことのできる人間になりたいです。

4年制大学が開学してそろそろ一年。今後のこの大学の歴史・伝統がより輝きを増すように、この学校で学んだということを誇りに持ち、これから日々を邁進していきたいです。

キリ短47期生に乾杯。共に卓立つ友に、そして、在学生のみなさんに幸多かれ！2年間本当にありがとうございました。
(英語科47期卒)



二人とも離島出身の副会長＆会長



フットサルサークル



第47期学生会メンバー



第40回キリ学祭

がんばってます同窓生!!

韓国での留学生活

今、日本での韓流ブームは勢いが止まるどころか、どんどん加速する一方だ。その熱狂ぶりに正直びっくりしているのだが、韓国に対する関心が高まっていることをとても嬉しく思っている。

さて、私と韓国との出会いは、1995年のカナダ留学へとさかのぼる。当時、私のクラスメートは韓国人ばかりで、休憩時間となると廊下は韓国語が飛び交っていた。そこで二人の友人の韓国語の会話を耳にしたのだが、「何を怒っているのだろう？」というのが第一印象だった。しかし、二人とも笑顔だ。そこで、会話の内容を聞いてみると、「ランチは何にする？」ということだった。その時の韓国語の音の強さに強く惹かれ、それがきっかけとなって韓国語に興味を持つようになり、1998年、韓国での留学生活がスタートした。

一年半の語学学校を経て、韓国外国語大学校の三年次に編入したのだが、韓国人学生たちの勉学に対する意識レベルの高さと熱意にびっくりさせられたことは多い。

例えば、中間・期末テストの前になると、皆が「奨学金を取れるように勉強に頑張ろうね」と合言葉のように言うのである。成績が上位三位以内に入ると奨学金が支給されるので、誰もが躍起になって試験勉強に励むのである。キリ短時代、私自身また周囲の友人もそのような事を口にしたことがないので、とても印象的だった。

また、成績が予想と反して悪い場合、即、評価した教授に電話やメールなどで抗議し、その理由を追及する。B以下の成績なら、再度同じ科目を取り直す学生もいる。日本ではありえない光景ではないかと思うが、韓国では成績が就職活動に影響するので、少しでもいい成績をというのが当たり前ののだ。同時に、結果次第では奨学金ももらえるので、誰もが必死になって頑張るのである。

留学生活において、もう一つ大きく驚いたことは、インターネットの普及率の高さだ。この分野において韓国は先進国なのだが、それを肌で感じたのは、大学の授業登録の時である。キリ短時代、私は都合のいい時間割を作成するために毎学期、体育館内に設置されたいくつの登録コーナーを走り回ったのだ。しかし、韓国の大学では、インターネットでスムーズに授業登録を申請する。つまり、ネットができる環境ならどこにいても登録ができるのだ。しかも、本の貸し出し延長や成績結果まで

仲村 美香 (35期 英語科卒業)

沖縄県国際交流・人材育成財團派遣留学生
韓国外国語大学校 教育大学院在籍中

でネットを通じて確認できる。

また、授業でも特定のサイトを利用して学科内の連絡事項や授業で使う資料の入手、学生間のコミュニケーションの場にと、数多く利用されており、とても便利な環境だ。今でこそ、日本の大学でもインターネットを取り入れているが、おそらく当時としては稀なケースではなかつただろうか。

このように、日本と、全く違う点もあれば、似通った点もある韓国での学生生活。ここでしか味わえない学生生活を満喫しつつ、自分自身の納得いく修士論文が作成できるよう努力していきたいと思う。

もし、皆さんも県外あるいは国外へと行く機会があるので、ためらわずに是非チャレンジして欲しいと思う。島を出て初めて、気づく沖縄の長所や短所、また新しい出会いや体験は自分の視野をさらに広げてくれるからだ。キリ短生・キリ大生の誰もが人生を有意義に生きるために第一歩を踏み出す勇気を持っていると私は強く信じている。



卒業式(延世大学校 言語研究教育院 韩国語学堂)

2005年度 前期公開講座

人 事 (2004年4月1日～2005年3月31日)

講座名(講師名)	内 容	開設日
アラビア語 (島袋 忠雄)	アラビア語は、我が国ではまだなじみがうすいが、中東東から北アフリカにまたがる22か国語の公用語として、約10億人のイスラム教の教典コーランの言葉として、そして、国連の公用語の一つとして使用範囲は広い。 本講座の目標は、アラビア文字の読み方書き方に始まって初步的な会話になじむことにある。	4月~ (10回) 毎週金曜日
ハンセン病医療医学を学ぶ視点 (近藤 功行)	「誓信号で手をあげて横断歩道を渡っていたら、赤信号を無視した『らい予防法』という車に跳ねられ、気がついたら、一生外に出ることの出来ない療養所の中にいた」。奄美和光園・森田隆二氏の印象に残る言葉だ。岸川一夫先生と出会い、ハンセン病医学夏期大学講座の受講、全国またこの療養所訪問などを通して感じた、我が国のハンセン病の投げかける内容について学んできたことを、受講生と共に学んでみる。	4月~ (10回) 毎週水曜日
American History for Okinawa (Lyle E. Allison)	本講座ではアメリカ史における自由、独立、世界大戦、沖縄、ベトナム戦争、冷戦などを沖縄史との関連に焦点をしぼって取り上げたい。 英検2級レベルを有する者が受講対象として、望ましい。	4月~ (10回) 毎週水曜日
宮良 長包の世界 (大山 伸子)	宮良長包(1883~1939)は、「えんどうの花」「安里屋ユンタ」「汗水節」など今なお歌い継がれている数々の名曲を生み出した作曲家です。生涯、教育で音楽教師として指導する傍ら、自作の曲を教材化したり、演奏会やチャリティコンサートなどを実践した優れた音楽教育家でもありました。本講座では、長包の作品演奏や解説、生涯と人物像、音楽教育法などについて、宮良長包の研究者や演奏家が担当し、公園や実演をまじえながら宮良長包的魅力に迫りたいと思います。長包メロディーを口ずさみながらの楽しい講座です。ぜひご参加下さい。	4月~ (10回) 毎週水曜日
沖縄伝 空手道入門 (与儀 勝彦)	沖縄の伝統的空手の形を基本にした運動、初歩的な護身術の修得、スポーツが苦手な女性・外国人も歓迎、民間道場との交流稽古有り。	4月~ (10回) 毎週木曜日
ヘルシーエコライフ (澤垣 直子、赤崎 綾乃 山崎 葵)	講座前半は、講義とワークショップ形式で、自分自身にとつての「快」を基準とした安上がり楽ちんセルフケア法のあれこれをお紹介します。心にも体にもやさしい環境負荷の少ない暮らしを試してみませんか? 後半は実技を取り入れます。提供するスポーツの正式名称は「リューリンナート」、英語で言うと「ホイールジムナスティクス」。ドイツ発祥の、輪を使った体操です。特に自分で自分の運動能力に限界を作っている大人に体験してもらいたいスポーツです。	4月~ (10回) 毎週木曜日
カウンセリング を考える (渡久地 政順)	カウンセリングや相談の仕事をしていると、自分のやり方は理論的に正しいだろうとか、資質を向上させるにはどうしたらよいだろうか、等の疑問が出てきます。そのような疑問を、講義、質疑、討議などで解明しようと試みる講座です。	4月~ (10回) 毎週金曜日
朗読基礎講座 (上原 明子)	朗読による身体表現を楽しむための基礎講座。前半は、呼吸、身体づくり、発声のトレーニング、日本語の音声学、朗読についての学習を行う。後半は、群読や作品朗読の表現方法を学習する。動きやすい服装で。	4月~ (10回) 毎週月曜日

2003年度決算報告

本学決算は、文部科学省令「学校法人会計基準」に拠って作成されたものです。2003年度の資金収支決算および消費収支決算の概要は下記の通りです。

資金收支計算書

消費收支計算書

(单位: 田)

資金支出の部		資金収入の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
人件費支出	479,701,393	学生生徒等納付金収入	703,438,650
教育研究経費支出	178,715,390	手数料収入	22,729,400
管理経費支出	37,288,557	寄付金収入	24,145,977
借入金等利息支出	13,676,192	補助金収入	132,105,626
借入金等返済支出	59,350,000	資産運用収入	9,711,246
施設関係支出	57,189,900	事業収入	4,730,231
設備関係支出	29,686,220	雑収入	20,738,880
資産運用支出	31,003,604	借入金等収入	2,000,000
その他の支出	31,151,075	前受金収入	330,386,250
予備費		その他の収入	88,413,857
資金支出調整勘定	△ 8,951,658	資金収入調整勘定	△ 363,987,746
次年度繰越支払資金	565,577,590	前年度繰越支払資金	509,975,892
支出の部合計	1,484,388,263	収入の部合計	1,484,388,263

消費收支計算書

(单位:吋)

消費支出の部		消費収入の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
人件費(退職給与引当金織入含む)	471,533,233	学生生徒等納付金	703,438,650
教育研究経費 (減価償却額含む)	240,409,006	手数料	22,729,400
管理経費 (減価償却額含む)	43,126,615	寄付金	24,597,716
借入金等利息	13,676,192	補助金	132,105,626
資産処分差額	8,082,590	資産運用収入	9,711,246
徴収不能額引当金織入額	920,000	事業収入	4,730,231
予備費		雑収入	20,738,880
消費支出の部合計	777,747,636	帰属収入合計	918,051,749
当年度消費収入超過額	81,054,113	基本金組入額	△ 59,250,000
前年度繰越消費支出超過額	422,045,652	消費収入の部合計	858,801,749
翌年度繰越消費支出超過額	340,991,539		

寄付感謝報告

募金へのご協力ありがとうございます。ここに感謝をもってご報告させていただきます。

寄付指定（2003年12月1日から2005年1月31日）

個人 ￥8,787,000円 団体 ￥12,917,551 合計 ￥21,704,551

四年制大学		父 母		その他	
同窓/在学	宇根 明美	幸子 広子	30,000	30,000	沖縄キリスト教学院大学四年制開學記念チャリティ実行委員会
一般	山城 三恵子	利純 正貴	10,000	10,000	100,000
	城間 貞	秀米 和哲	10,000	10,000	
	匿名	富豊 瑞規	10,000	20,000	
企業	沖縄観光株式会社	雄子 彦雄	5,000	5,000	
	総合紙器株式会社	雄男 博穂	10,000	10,000	
	有限会社東洋建設	穂雄 孝子	10,000	20,000	
団体	有限公司雷光電気工事	50,000	50,000	50,000	
宗教	沖縄キリスト教短期大学後援会	3,000,000	5,000	5,000	
宗教団体	知花 菊代	6,000	10,000	10,000	
	よきサマリア人伝道所	200,000	10,000	10,000	
	沖縄アーランゲージスタイル	5,000	20,000	20,000	
	沖縄教区教会婦人連合会	47,410	10,000	10,000	
学校関係者	佐敷教会	10,000	10,000	10,000	
	首里教会	10,000	10,000	10,000	
	西原教会	5,000	10,000	10,000	
	読谷教会 光会	10,000	622,000	622,000	
	日本キリスト教保育所同監沖縄地区	21,000	1,150,000	1,150,000	
	平良川伝道所	8,000	100,000	100,000	
教職員	安里 昌男	100,000	100,000	100,000	
	伊波 健宏	30,000	5,000	5,000	
	兼次	5,000	10,000	10,000	
	小波津 文初	50,000	30,000	30,000	
	渡真利 直	20,000	50,000	50,000	
	普天間 恵	6,000	10,000	10,000	
	嘉陽田 千子	11,000	10,000	10,000	
	山里 恵	500,000	30,000	30,000	
	出盛 田	4,000	10,000	10,000	
	松上 繁	13,000	10,000	10,000	
	神前 道	30,000	250,000	250,000	
	大津 喬	130,000	10,000	10,000	
	比嘉 古	50,000	10,000	10,000	
	平良 嘉	50,000	10,000	10,000	
	与儀 良	18,000	10,000	10,000	
	与儀 嘉	64,000	10,000	10,000	
	小計		5,134,410	小計	
施設設備		父 母		その他	
学校関係者	阿部 明夫	10,000	10,000	玉城 智彦	15,000
	安元 崇美	5,000	5,000	(有)金城印刷	10,000
	伊志 明照	10,000	10,000	東洋建設	10,000
	永下 哲博	30,000	1,000,000	沖縄海邦銀行	30,000
	儀宮 盛春	10,000	6,000	沖縄電力株式会社	20,000
	宮玉 明盛	5,000	17,000	土田 昭夫	30,000
	金城 健一	10,000	2,000	(株)沖縄土建	15,000
	吳屋 明和	30,000	500,000	日本総合整備(株)	20,000
	山根 健勝	10,000	4,000	有限会社 東洋建設	50,000
	松原 義ヒロ	10,000	30,000	琉球放送(株)	50,000
	照運 天篠	20,000	60,000	Lyle A. Allison	10,000
	上間 駿	5,000	240,000	小計	
	上頭 美穂	10,000	50,000	245,000	
	新嘉 優子	30,000	200,000		
	神里 俊	10,000	100,000		
	青木 光義	30,000	120,000		
	小計		50,000	2,000	
教職員	美夫 栄男	10,000	116,000		
	栄美子 夫治一	5,000	403,000		
	明美 満子	10,000	403,000		
	昭彦 次夫	10,000	10,000		
	和代 久義子	10,000	10,000		
	健一 和勝ヒロ	10,000	10,000		
	和義子 篤子	10,000	10,000		
	和穂子 明子	10,000	10,000		
	和光 英義	30,000	10,000		
	小計		50,000	10,000	
その他	小計		5,134,410	小計	
選奨金		選奨金		選奨金	
同窓/在学	宇根 明美	30,000	30,000	同窓会	50,000
一般	山城 三恵子	100,000	100,000	Julia Keiko Higa Estrella	1,000,000
	城間 貞	10,000	10,000	(有)カミヤマ美研	50,000
	匿名	1,000	1,000	(株)千代田ブライダルハウス	100,000
企業	沖縄観光株式会社	20,000	20,000	三協電気工業株式会社	240,000
	総合紙器株式会社	300,000	300,000	三協電気工業株式会社	240,000
	有限公司雷光電気工事	100,000	100,000	三協電気工業(株)共済会	60,000
団体	沖縄キリスト教短期大学後援会	3,000,000	3,000,000	NPO法人西原町つり支援の会	100,000
宗教	知花 菊代	6,000	6,000	沖縄キリスト教学院後援会	600,000
宗教団体	よきサマリア人伝道所	200,000	200,000	沖縄キリスト教短期大学後援会	300,000
	沖縄アーランゲージスタイル	5,000	5,000	OIC教会代表 神山繁實	100,000
	沖縄教区教会婦人連合会	47,410	47,410	教会代表 神山繁實	100,000
学校関係者	佐敷教会	10,000	10,000	大城進一	100,000
	首里教会	10,000	10,000	Lyle A. Allison	60,000
	西原教会	5,000	5,000	城間勉	54,000
	読谷教会 光会	10,000	10,000	神山繁實	100,000
	日本キリスト教保育所同監沖縄地区	21,000	21,000	仲門勇市	50,000
	平良川伝道所	8,000	8,000	三協電気工業(株)共済会	60,000
教職員	安里 昌男	100,000	622,000	小計	
	伊波 健宏	30,000	1,150,000	小計	
	兼次	5,000	100,000	小計	
	小波津 文初	50,000	100,000	小計	
	渡真利 直	20,000	100,000	小計	
	普天間 恵	6,000	100,000	小計	
	嘉陽田 千子	11,000	100,000	小計	
	山里 恵	500,000	100,000	小計	
	出盛 田	4,000	100,000	小計	
	松上 繁	13,000	100,000	小計	
	神前 喬	30,000	100,000	小計	
	大津 波古	40,000	100,000	小計	
	比嘉 嘉良	50,000	100,000	小計	
	平与 優儀	18,000	100,000	小計	
	小計		64,000	小計	
学生会援助		学生会援助		学生会援助	
同窓/在学	宇根 明美	2,700,000	2,700,000	同窓会	300,000
団体	山城 三恵子	10,000	10,000	医療法人 社団 輔仁会	250,000
	城間 貞	10,000	10,000	沖縄キリスト教学院後援会	400,000
宗教	知花 菊代	20,000	20,000	小計	
宗教団体	Common Global Ministries	230,000	230,000	小計	
	Board Christian Church	3,000	3,000	小計	
	沖縄キリスト教協議会	56,000	56,000	小計	
	読谷教会 光会	10,000	10,000	小計	
	日本キリスト教婦人権会議読谷支部	5,000	5,000	小計	
	日本基督教団 沖縄中央教会	10,000	10,000	小計	
学校関係者	安里 昌男	180,000	180,000	小計	
	伊波 健宏	35,000	35,000	小計	
	兼呉 定美	15,000	15,000	小計	
	神石 美代	50,000	50,000	小計	
	普天間 治子	1,000,000	1,000,000	小計	
	嘉陽田 初直	6,000	6,000	小計	
	波里 澄子	17,000	17,000	小計	
	盛田 美清	2,000	2,000	小計	
	原山 真代	500,000	500,000	小計	
	山川 初美	4,000	4,000	小計	
	川瀬 澄子	30,000	30,000	小計	
	田中 美香	60,000	60,000	小計	
	田中 美穂	240,000	240,000	小計	
	山口 美穂	50,000	50,000	小計	
	山口 美穂	200,000	200,000	小計	
	山口 美穂	100,000	100,000	小計	
	山口 美穂	120,000	120,000	小計	
	山口 美穂	2,000	2,000	小計	
	山口 美穂	116,000	116,000	小計	
	山口 美穂	403,000	403,000	小計	
	山口 美穂	10,000	10,000	小計	
高校生英語弁論大会		高校生英語弁論大会		高校生英語弁論大会	
一般	玉城 智彦	15,000	15,000	玉城 智彦	15,000
	(有)金城印刷	10,000	10,000	(有)東洋建設	10,000
	東洋建設	10,000	10,000	沖縄海邦銀行	30,000
	沖縄電力株式会社	20,000	20,000	沖縄電力株式会社	20,000
	土田 昭夫	30,000	30,000	土田 昭夫	30,000
	(株)沖縄土建	15,000	15,000	(株)沖縄土建	15,000
	日本総合整備(株)	20,000	20,000	日本総合整備(株)	20,000
	有限会社 東洋建設	50,000	50,000	有限会社 東洋建設	50,000
	琉球放送(株)	50,000	50,000	琉球放送(株)	50,000
	Lyle A. Allison	10,000	10,000	Lyle A. Allison	10,000
	小計		245,000	小計	
その他		その他		その他	
同窓/在学	宇根 明美	46期学生会	150,000	同窓会	150,000
一般	山城 三恵子	Julia Keiko Higa Estrella	1,000,000	Julia Keiko Higa Estrella	1,000,000
	城間 貞	OIC教会代表 神山繁實	300,000	OIC教会代表 神山繁實	300,000
	匿名	大城宜武	140,000	大城宜武	140,000
	小計		1,590,000	小計	
	総計		¥ 21,704,551	総計	

前号にて寄付者の漏れがありました。お詫びするとともに追記させていただきます。(順不同、敬称略)

相愛幼稚園 20,000、沖縄教区教会婦人会 43,230、45期卒業献金 708,150、2003年9月期卒業献金 115,000

与儀勝彥 6,000 計892,380